

真庭SDGsパートナー宣言書

企業・団体名 真庭市立勝山中学校

代表者名 杉 徹郎

次のとおり真庭市とともに持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献することを宣言します。

1 関係するSDGs目標（ゴール）（○を入れてください。）複数選択可

 <p>①貧困 1 貧困をなくそう</p>		 <p>②飢餓 2 飢餓をゼロに</p>		 <p>③保健 3 質の高い保健をすべての人に</p>	○	 <p>④教育 4 質の高い教育をみんなに</p>	○
 <p>⑤ジェンダー 5 ジェンダー平等を推進しよう</p>	○	 <p>⑥水・衛生 6 安全な水とトイレを世界中に</p>		 <p>⑦エネルギー 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>		 <p>⑧成長・雇用 8 働きがいのある経済成長を</p>	
 <p>⑨イノベーション 9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>		 <p>⑩不平等 10 人や国の不平等をなくそう</p>	○	 <p>⑪都市 11 住み続けられるまちづくりを</p>		 <p>⑫生産・消費 12 つくって消費する責任</p>	
 <p>⑬気候変動 13 気候変動に具体的な対策を</p>		 <p>⑭海洋資源 14 海の豊かさを守ろう</p>		 <p>⑮陸上資源 15 陸の豊かさを守ろう</p>		 <p>⑯平和 16 平和と公正をすべての人に</p>	
 <p>⑰実施手段 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>							

2 持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献する内容

<p>（学校紹介） 勝山中学校の生徒は、勝山小、月田小、富原小、美甘小の4小学校区から通ってきており、山間部が多く校区が広いため、JR、スクールバス、スクールタクシー、自転車、徒歩など多様な方法で通学しています。 「考えよう、鍛えよう、やり遂げよう」の校則のもと、学校教育目標である「郷土を愛し、心豊かであくましくいきる生徒の育成」を目指して、生徒と教職員が共に考え、共に学び合い、共に鍛え合って、充実した学校生活を送っています。</p> <p>（SDGsの取組紹介） 人権学習として、長嶋愛生園訪問や手話楽語など実際の体験を通して、ハンセン病や障害を持つ人への理解を深め、違いを認め合うことや身近な差別を許さない意識を育てています。（④教育、⑩不平等、⑤ジェンダー） 地域を愛し地域に貢献する人材の育成を図るために、キャリア教育の一環として地元の方や事業所の方にご協力をいただき、職業講演会、職場体験学習を実施しています。また、勝山もみじまつりやおひな祭りにボランティアとして参加するなど地域を知り地域に貢献するような活動を推進しています。（④教育、⑧成長・雇用） 生徒会の福祉委員会では、伝統的にベルマークを集めて福祉に役立てる活動を行っています。福祉団体に車椅子を贈る取組をはじめ、平成30年度末には豪雨で被災した真備地区の中学校2校へデジカメとサッカーボールを贈りました。（④教育、③保健・福祉） 教育活動全てがSDGsに繋がるものだと考えていますが、このような人権学習や地域との連携を生かした体験活動、生徒の主体的な活動については、特に継続、充実、発展させていきます。</p>

企業・団体の事業等において、持続可能な開発目標（SDGs）の達成にどのように貢献するか、1で○を入れたSDGs目標（ゴール）の達成にどのように貢献するかなどを記載してください。